

令和8年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1 日時・場所

令和8年4月22日（水）14:00～16:00 選択教室3

2 出席者 学校運営協議会委員（出席6名欠席1名 過半数の出席）

学校教職員（校長, 副校長, 全日制教頭, 定時制教頭, 事務長, 運営委員）

3 学校経営計画の承認

令和8年度経営計画が、全会一致で承認された。

全日制：普通科・福祉科の特色を活かした「宮東力」『確かな学力』『自己管理能力』『探究力』『協働力』『傾聴力』『表現力』『主体的行動力』の育成。

定時制：勤労と学業の両立支援。重点目標「健康で安全で規律ある生活を送ることを目指し、自己管理能力の向上と、場に応じた言動を選択できる判断力の育成を図る。」「基本的な生活習慣と勤労意識の育成、基礎学力の定着を図る。」の達成。

4 報告事項：学校間教育連携の本格始動（富士宮4校連携）

本年度より、富士宮地区の県立高校4校（宮北・宮西・富岳館・本校）による教育連携を本格化させる。これは高校の小規模化に対応し、単独校では維持が困難な教育環境を地域全体で補完・維持するための戦略的取り組みである。

・合同部活動の展開と拠点化

各校の特色ある部活動を互いに開放する。本校には「オーケストラ部」および「弓道部」を拠点として設置し、他校生徒の受け入れを開始した。一方で、本校生徒が他校（宮北：柔道、宮西：囲碁、富岳館：剣道）の活動に参加することも可能とし、生徒の多様な活動機会を確保する。宮西高の囲碁部には、本年度すでに他校からの入部希望者が出ている。

・合同体育祭の開催

2026年6月5日、富士宮北高校にて3校合同の体育祭を開催する。単なる行事の統合に留まらず、動画によるライブ配信を実施することで、中学生や地域住民に対し、学校の垣根を超えた「新しい公立高校の姿」を広く発信していく。

5 協議事項：生徒の安全確保と交通安全教育の高度化

2026年4月からの自転車ヘルメット着用義務化に伴い、内面化を伴う安全教育のあり方について協議が行われた。

・ヘルメット着用の現状と課題：

教員の声かけにより登校時の着用率は極めて高い水準にあるが、学校外（放課後や休日）での着用継続に課題が残る。「注意されるから被る」という受動的な態度から、自らの命を守るための「自己管理能力（宮東力）」の一環として、生徒自身がその必要性を本質的に理解できるよう、継続的な啓発を行う方針を確認した。

・交通違反（青切符・赤切符）への実効性ある指導：

警察からの通知が必ずしも学校に届かないケースがあり、特に赤切符等の重大な違反を学校側が把握しにくい実態が指摘された。保護者向けの交通安全教室の開催要望も出されたが、駐車場の確保等の物理的制約もあり、まずは家庭への情報提供と啓発文書の配布を強化し、学校・家庭・地域の三位一体で取り組む必要性を共有した。

6 協議事項：魅力向上と生徒募集戦略（体験型スクールの導入）

私立高校の意欲的なPR戦略を参考に、公立高校としての「手厚いサポート体制」を可視化する戦略について議論された。

・「説明」から「体験」への転換

従来型の事務的な説明会から脱却し、授業や部活動をリアルに体験できるプログラムを強化する。特に普通科においては、入学後の具体的な生活をイメージさせることで、志願者の意欲向上とミスマッチの防止を図る。

・生徒が語る学校の魅力：

教職員による発信に加え、生徒自身が自校に誇りを持ち、自らの言葉で魅力を語る機会を重視する。ボランティア活用による学習支援システムの構築など、生徒の主体性を促す取り組みそのものを本校の魅力として発信していく。